2016年1月 JAGニュース No.90

特定非営利活動法人
日本芸術家協会
http://www.jag-ten.jp
●協会事務局 横浜市青葉区もみの木台10-3
●東京事務所 東京都品川区西品川2-2-12
●連絡事務所 〒337-0016
さいたま市見沼区東門前1-1-724
TEL:048-792-0790 FAX:048-792-0799
Mail:office@jag-ten.jp

第38回JAG展 東京都美術館

2015/11.17～11.24 2F第3展示室にて

出品者総数103名、出品作品総数117点。内訳：会員・準会員：81名・91点、賛助会員・公募22名・26点。入館者数：2602名。同時期、都美術館において人気のモネ展が開催されていて、連日圧倒される入館者が続いた。当展は地道に努力が伺われる作品も印象的であった。また課題として、今後の出品者数・出展数の増加に向けて、その働きかけと前向きな指針の創出が求められている。

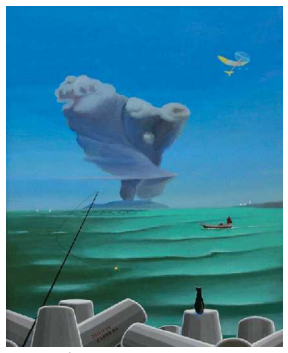
受賞作品 会員

JAG賞
[村はコンチェルト]山﨑 信榮
農作業後の村の演奏会。アマチュアフアーマーは農閑期にチェロの腕前が上がり、今夜は夢見心地。

会員賞[旧市街の朝]目黒 勲
ジュネーブの旧市街に哀愁を感じてイーゼルを立てる。ドバイからという娘さんが見せてくれと隣に座り込んだ。

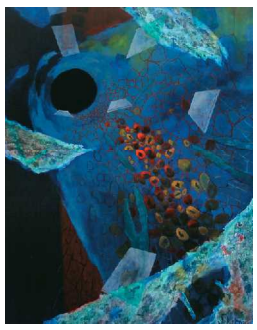
会員賞[コーヒーファーム]中村 信
絵を描くには感動や感激があった方が良い。今回はコーヒー好きの私が出会った店先が絵になった。

会員賞[紅 衣]竹辺 孝
光の方向が分かるような、明と暗の表現を試行しています。まだまだ道は遠い様です。



会員賞[猫のつぶやき]
中村 賢一:不穏な時代の空気の中で、口永良部島爆発のニュースが流れた。あのネコはどうしているのだろう・・

※以下各会員の所属は2015年展覧会時点の表記・作者名は敬称略



会員賞 [生1、生2]曽我 志緒美
限りある生命の中で、困難さや希望を細胞的な表現を使って描きたいと思いました。色々試みています。

会員賞 [霧立つ峠の棚田]黒山 久章
霧立ち、朝日に輝く峠の棚田の美しさに魅せられ、どこまで表現が出来るかチャレンジしました。

ホルベイン工業賞[Historia]
児山 勢以吾:「私は私と私の環境である」（オルテガ）この言葉を胸にいつも作品を描いています。

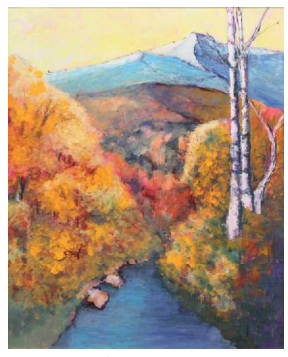
会員奨励賞[花追憶]
宮芝 玲子:日本伝統工芸和紙は、絵の具では表現不可能な部分迄、素晴らしいグラデーションで魅せてくれます。

準会員

会員奨励賞 [NO1牛小屋・NO2牛小屋]酒見 文雄
朽ち果てた牛小屋の中で、母牛の愛情いっぱいで見守られ、戯れ、育ってゆく日々を描いてみました。

準会員賞[夏草に覆われて]
刀祢 悦子:故郷の浜も時代の流れで賑わいも消え、夏草が蔓延り、取り残された漁師小屋の景、思い出の一枚にと描く。

準会員賞[うごめき]
井阪 朋徳:この世界では、見える事がすべてではない。かくされて、見えなくなっている事が大切なのだと思っている。



クサカベ賞[秋色の妙高高原]
松井 猛:高原の冷気の中でオレンジ、赤の紅葉と冠雪の妙高連山のハーモニーに感動。

マツダ賞 [満 喫] 佐藤 千晶
都会を離れ日がな趣味を語らい合う旧知の友。時折通り過ぎる放牧馬の話になり、持馬が勝利したでカンパイ。何かにつけ思惑有りげな人種です。

準会員賞[威風堂々]岸本 厚美
ミュンヘンの地方裁判所。手前広場の高く舞上る噴水の勢いをどう表現したらよいのか、苦労しました。

準会員賞[烏鎮の水路]菅原 二十生
現場での簡単なスケッチと写真をもとに明るい水路を切り取りました。

準会員奨励賞[光へ・・]橋本 由紀子
どこまでも 連なり 光を求めて
上へと 伸びる命 果てしなく
繋がる希望

賛助会員・公募

銀 賞[名残の雪]赤塚 百合子
二度目の白川郷は春四月。木々は芽吹き、名残の雪が水面に浮び、何度も訪れたい心の故郷ここにあり。

銀 賞[赤毛のアンの食卓]白鳥 隆
窓から降り注ぐ光とアンティークな食器や家具の質感・空気を表現したかった。

銅 賞[たゆたう音]豊嶋 隆
ここ数年来リアル仏教思想に興味があり、涅槃で鳴ってるとしたらこんな音の風景だろうと夢想した。

銅 賞[金 魚]橋爪 義一
水中植物の光景を抽象的に表現したが、色彩に乏しく、金魚の赤色により、そのバランスを補いました。

銅 賞[連 峰]廣田 伯雲
富士山でもアルプスでも無い、私の登って見たい山々を連ね、私の夢の中を描いて見ました。